

ほこみち事業者公募への応募について



【2025年5月12日 委員会付議予定】

なんば広場マネジメント法人設立準備委員会

【社会実験①／現在】大阪市と準備委員会が協定を結び管理運営**■ 課題：事業収支検証が実施困難**

[警察指摘]

・法的制度を適用していないため、**営利団体・任意団体主催のイベントが実施不可。**

[大阪市指摘]

・道路上の**デジタルサイネージの運営**には、**大阪市の公募が必須。****課題解決
方針**

- ① **大阪市がほこみち制度の公募**を行う
- ② **準備委員会がほこみち事業者として応募**する
- ③ **ほこみち事業者が占用主体**として社会実験を継続

ほこみち制度公募実施（本公募）**【社会実験②／今回の議案】ほこみち制度による管理運営****■ 社会実験②における主な検証内容**

- | | |
|---------|--------------------------------|
| [全体] | 本格運営時における官民役割分担 |
| [収益の検証] | 営利団体主催イベント、デジタルサイネージ広告、等の収益可能性 |
| [支出の検証] | 警備費の削減方針 |
| [運営ルール] | マルイ前、なんさん南北の区域の運営ルール |

2. なんば広場 ほこみち公募 概要 ①全体概要

●運営期間：3年10か月

2025年9月1日から2029年6月30日まで

1年度（10か月）
（準備期間・万博開催）

・各事業の準備を含む期間
（例）デジタルサイネージの設置
・万博開催に伴い、関連イベントが
多数開催されることが想定



2～3年度
（通年での事業実施）

・イベント関連業務や広告に関する
業務等、本来の通年での収益事業
が実施可能な期間



4年度
（前年の事業収支分析・検証）

・引き続き、広場の維持管理を実施
・2～3年度の事業収支を分析し、
検証結果をとりまとめ

●実施項目：主要8項目

（昨年10月18日の当委員会で決議した、地域要望を汲んだ内容）

- 1) 地域環境保全に関する業務
- 2) にぎわい創出に関する業務
- 3) 広告に関する業務
- 4) 安全で安心な環境づくりに関する業務
- 5) 情報発信及び地域との連携業務
- 6) 利益確保時に必須業務となる業務
- 7) 効果測定・検証に関する業務
- 8) 次期占有者への移行に関する業務

※各項目に必須・提案業務があり、詳細後述

▶「歩行者利便増進計画」に準じた運営が求められる

●評価項目

- 1) 事業の実施方針
- 2) 公募対象歩行者利便増進施設等の設置・
管理運営計画
- 3) 事業の実施体制
- 4) 事業の実施計画
※詳細後述

(1) 本件業務の対象範囲及び道路法に基づく利便増進誘導区域（ほこみち区域）



図2-1 本件業務の対象範囲

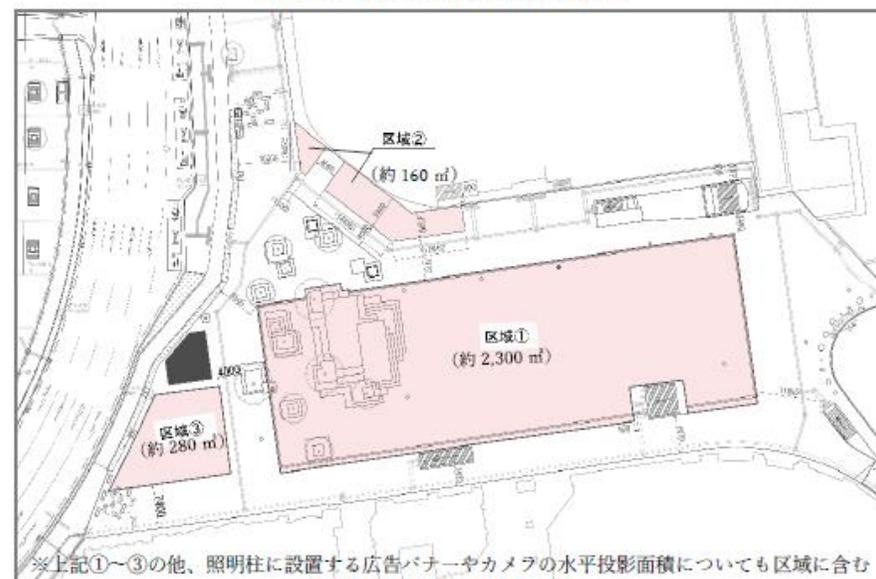


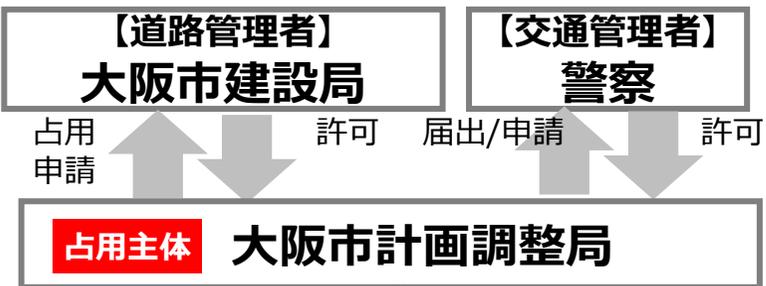
図2-2 ほこみち区域

2. なんば広場 ほこみち公募 概要 ②運営体制

・ほこみち制度を導入し、市がほこみち事業者を公募し決定、公募で選定されたほこみち事業者(民間)が占用主体になることにより、なんば広場での活用内容が拡大する。

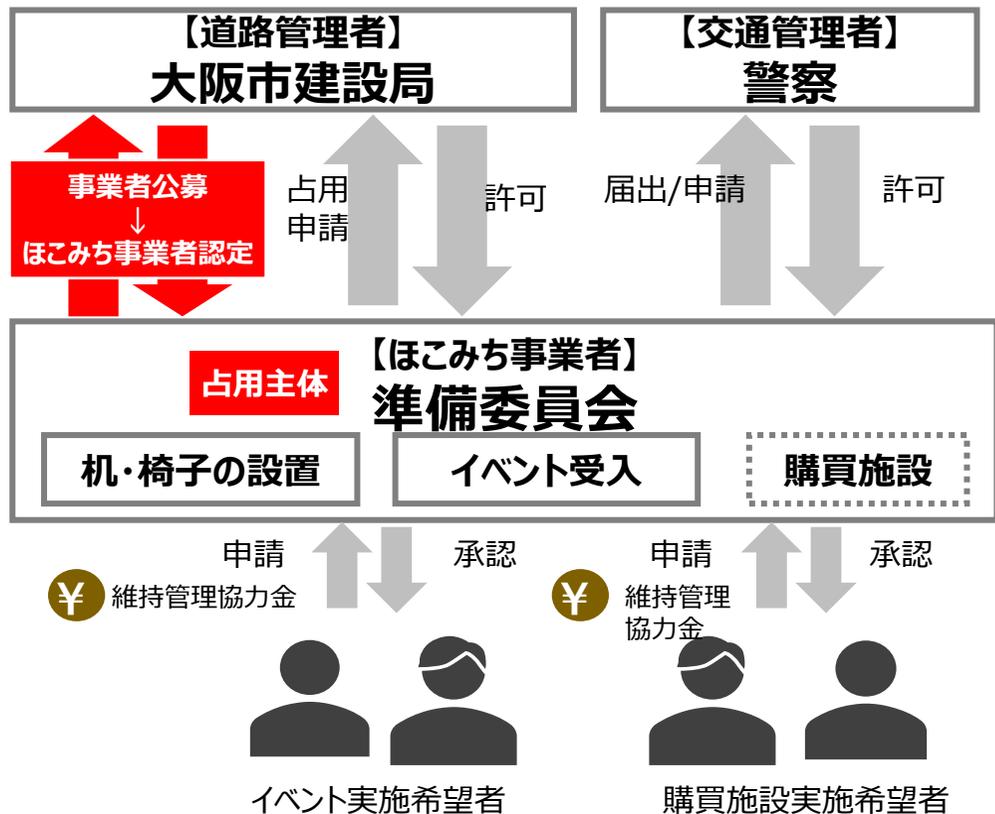
現在の協定期間
2023年11月23日～2025年8月31日

・社会実験の位置づけにより、占用料は免除



当公募の運営期間
2025年9月1日～2029年6月30日

・社会実験の位置づけにより、占用料は免除 (将来は9割減免予定)



参考：ほこみち導入に向けた過去の議論のポイント

- ① 広告事業（デジタルサイネージ）を実施するためには、大阪市が公募により事業者を選定する必要がある
- ② ほこみち制度を導入しないと民間主体による活用(民間イベント・広告)は不可

1. 事業の実施方針 (45点)

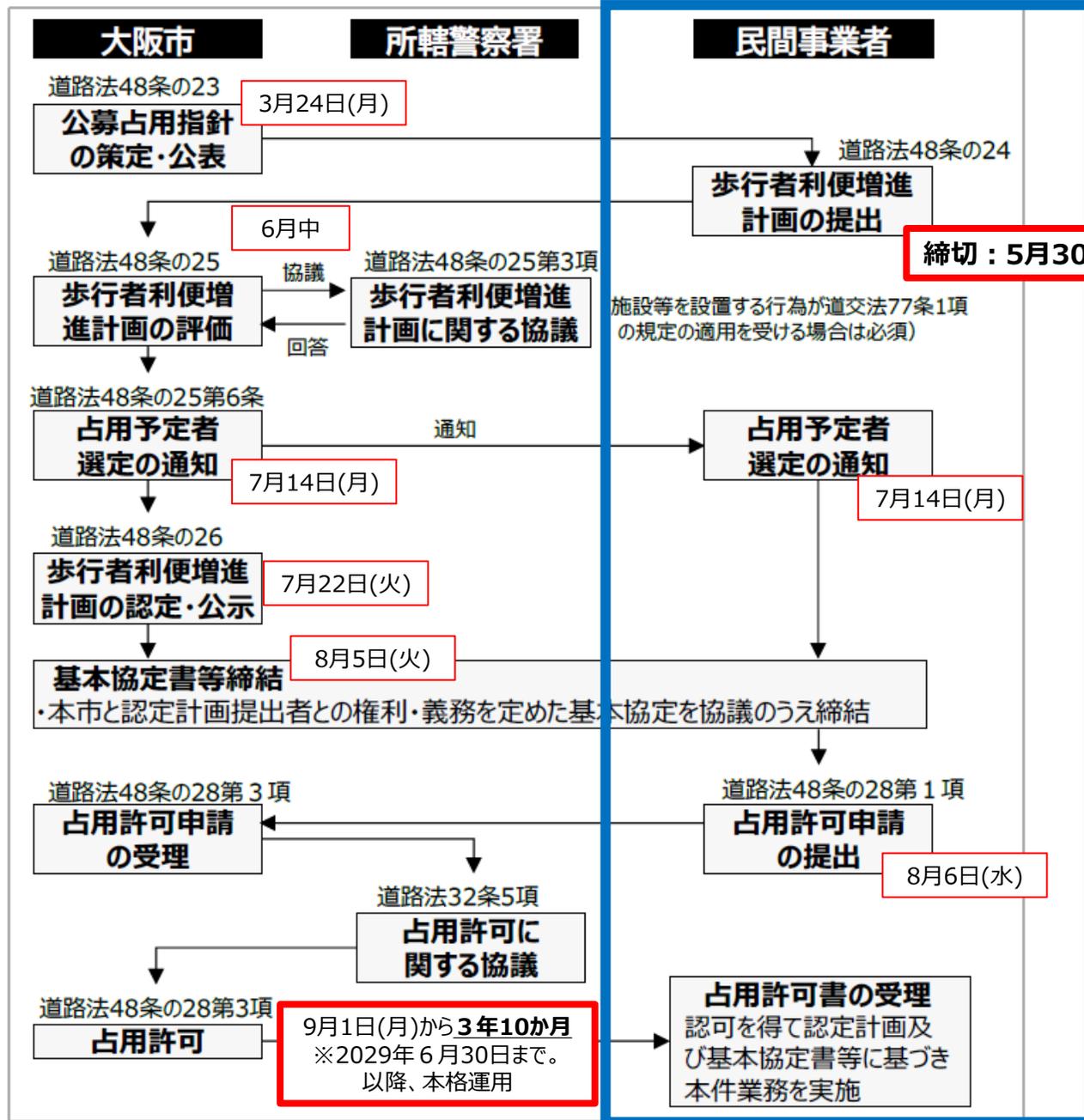
2. 公募歩行者利便増進施設等の設置・管理運営計画 (10点)

3. 事業の実施体制 (15点)

4. 事業の実施計画 (30点)

▶合計：100点満点

評価項目	審査の視点
1. 事業の実施方針 配点：45点	
《全体コンセプト》	都市再生整備計画の目標及び公募の目的を踏まえた事業全体のコンセプトとなっているか。 都市再生整備計画の2つの整備方針を実践するための計画となっているか。
《事業計画》	清掃・巡視点検及び日常管理業務が優れた事業計画となっているか。 自転車利用等の適正化啓発業務が優れた事業計画となっているか。 日常時の滞在空間創出業務が優れた事業計画となっているか。 イベント関連業務が優れた事業計画となっているか。 広告に関する業務が優れた事業計画となっているか。 安全で安心な環境づくりに関する業務が優れた事業計画となっているか。 情報発信及び地域との連携業務が優れた事業計画となっているか。 効果測定・検証に関する業務が優れた事業計画となっているか。 業務の遂行能力を裏付ける業務の実施体制（組織体制、職員配置）となっているか。危機管理・安全管理上、的確な対応に資する連絡体制、実施計画となっているか。 職員配置に対する研修等が適切に計画されているか。 個人情報保護などの人権に関する取組がなされているか。
2. 公募歩行者利便増進施設等の設置・管理運営計画 配点：10点	
	日常時の施設等の設置計画及び管理運営計画が事業コンセプトや事業計画を実現させるためのものとなっているか。 日常時の公募歩行者利便増進施設等の設置に伴い講ずる道路交通環境の維持等の措置が適切に計画されているか。 イベント時の施設等の設置計画及び管理運営計画が事業コンセプトや事業計画を実現させるためのものとなっているか。 イベント時の公募歩行者利便増進施設等の設置に伴い講ずる道路交通環境の維持等の措置が適切に計画されているか。
3. 事業の実施体制 配点：15点	
	経営状況は健全か、また納税状況は適正か。 応募団体の役割分担は適切か。 まちづくり活動の実績を有しているか。 社会的責任・市の施策との整合 ・環境に配慮した取組がなされているか。 ・就職困難者等の雇用への取組がなされているか。 ・女性活躍促進の取組がなされているか。 ・賃金や労働条件の向上に関する取組がなされているか。
4. 事業の実施計画 配点：30点	
	事業全体の収支計画において公募の目的を踏まえた目標が設定されているか。 収入を最大限、本件業務の経費に充当する収支計画となっているか。 収支計画が事業計画と整合しているか。 収支計画が根拠をもって明確に示されているか。 収入増加の工夫が施され、適切に根拠が示された計画になっているか。 妥当性や透明性を高める工夫が施された計画になっているか。 各業務の各業務に要する経費が根拠をもって明確に示され、競争性及び透明性が確保され、妥当なコスト管理の工夫が施されたものとなっているか。



- ①準備委員会
▶ 5月12日(月)AM
- ②安まち協役員会
▶ 5月16日(金)AM
- ③安まち協総会
▶ 5月23日(金)PM

①新たに実施できるようになる活用内容

大項目	小項目	備考
1 活用 <u>区域</u> の拡大	①マルイ前・喫煙所南の活用	
	②なんさん南北でのイベント受入	ほこみち区域未導入のため、イベント主催は行政・地域団体等に限定
2 活用 <u>内容</u> の拡大	①民間主催でのイベントの実施	法制度上、ほこみち区域を導入した2024年12月より先行実施
	②広告事業(デジサイ等)の実施	収支成立のため、開始当初ゆるやかな動画で運用・検証し、通常動画の早期開始を目指し、行政へ打ち込む(詳細は後述)

②ルールが変更となる項目

大項目	小項目	備考
1 受入イベント	①受入イベントの内容割合の設定	詳細は後述
2 事業収支	①収益の取り扱い	詳細は後述

③新たな実施が義務となる項目

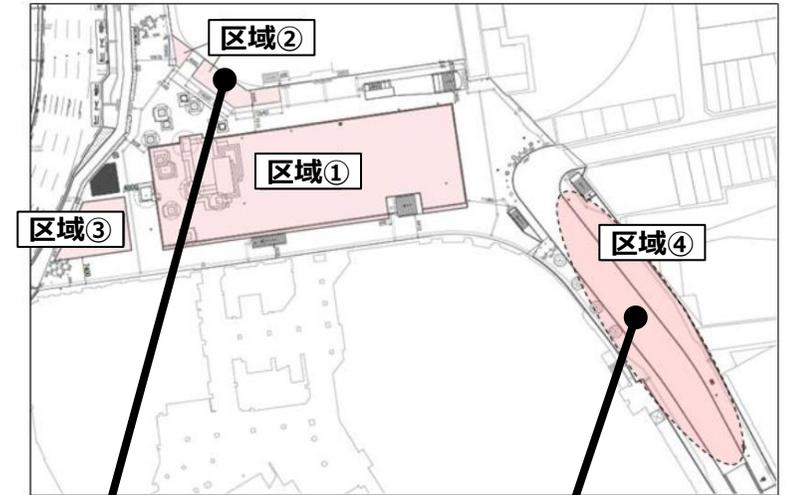
大項目	小項目	備考
1 効果測定・検証	①効果測定・検証	昨年度まで工事事業者が実施していた効果測定・検証がほこみち事業者の役割になっている
2 地域環境保全	①防犯カメラの設置・維持管理	
	(②治安維持警備・小規模修繕)	収支が上振れした場合のみ(詳細は後述)
3 日常利用	①無線基地局設置管理業務	

3. ほこみち公募占用指針・提案のポイント (2)活用区域の拡大

・活用対象区域は右記の通りである。

〔ほこみち区域導入状況〕

- ・区域①～区域③→ほこみち区域導入済
- ・区域④→ほこみち区域未導入
※本公募期間で、区域設定・ルール設定のための検証を行う。



■ 区域②と③の前提条件（占用指針より）

区域②（マルイ前）●

- 【必須項目】 ①机・椅子の設置 ②イベントの実施・受け入れ
- 【提案項目】 ①購買施設等の管理運営 ※質問回答に応じて記載内容調整予定

区域④（なんさん南北）●

- ・午前9時～翌午前1時までの時間帯で市が占有主体となり行政・地域イベントのみで使用が可能
- ・区域①～③と一体で活用する場合のみ、ほこみち事業者がイベント実施の受入調整を行う。
(区域④単独活用の場合は、市が受入窓口・調整を行う)
- ・区域④の利用は維持管理協力金の徴収は不可。
- ・ほこみち区域が導入された時点で、残り期間が1年以上ある場合、区域①～③と同様に、イベント受入・調整をほこみち事業者が実施する体制に変更になる。

0. 全体計画

（１）本事業の社会的意義

- ・公共空間（広場）の創出・運営により、エリアの魅力向上（なんばエリア全体の回遊性の向上等）・地域課題解決（安全安心なエリアへの転換、増加する歩行者通行量への対応等）に繋げており、その取り組みを官民連携により推進する。
- ・地域発意で検討を開始し、既存市街地での道路空間再編で広場を創出し、その広場を民間（地域）で持続運営することにより、他都市の先進モデル事例とする。

（２）状況と課題

- 状況（エリアのポテンシャル）：地域団体のまちづくりへの関わりが強さ
 - ・なんば広場整備の経緯も含め、地域団体のまちづくりへの関わり・意欲が強いエリアである。したがって、地域団体と連携することで地域に根差した運営を行い、なんば広場を起点としたエリアの魅力向上・地域課題解決につなげる。
 - なんば広場運営上の課題：持続的な民間運営のための収支成立
 - ・収支を成立させるために、収益増（広場貸出以外の収入源の確保）と支出減（特に治安維持警備費の削減）に向けた取り組みを行う必要がある。
- 【収益増加のための実施・検討事項】
- ・デジタルサイネージの設置
 - ・新たな収益源の確保（机・椅子への広告設置、モニュメント広告の設置など）
- 【支出削減のための実施・検討事項】
- ・治安維持警備の警備費削減
 - 24時間防犯カメラ監視せずに安全・安心な空間を維持する方策の検討（周辺施設警備員との連携等）

（３）目標設定

- 【コンセプト】「憩い・出会い・生み出す」大阪発のリアルメディア なんばのまんなか「なんば広場」
- 【広場の活用を通して実現を目指すこと】①なんばエリアの既存の魅力を発信する・エリアのブランド価値向上②新しい文化・プレイヤーの創出・応援
- ③広場のみでなく、エリア全体の回遊性向上・経済効果につなげる
- 【地域との連携の視点】地域に根差した運営を行い、広場の活用を通して、エリアの魅力向上・地域課題解決を実現
- 【行政との連携の視点】行政と密な連携体制を構築し、広場運営上の課題解決を行い、民間による広場の持続運営体制の実現

（４）個別項目

- ①にぎわい創出
- ②収支成立
- ③安全安心の確立

1. 地域環境保全に関する業務

1) 清掃等・巡視点検及び日常管理業務

- 【必須業務】 ①清掃等・巡視点検：毎日1回以上に清掃実施
②清掃・巡視点検の記録・報告：報告書を作成し、報告（1カ月に1回程度）

- 【提案業務】 ①追加清掃などの実施：テラスベンチやガム取りの特別清掃、地域清掃（ゆめまちロード・べっぴんプロジェクト等）への参加



2) 自転車利用等の適正化啓発業務（非収益活動）

- 【必須業務】 ①自転車押し歩き促進：押し歩き啓発活動の実施(月1回以上) ②放置自転車対策：官民で構成する自転車WGへの参画、札貼り実施

- 【提案業務】 ①追加案内サインの設置：抑止力の高い看板設置・サインージでの啓発物放映 ②追加啓発・撤去活動：SNS広告等を用いた啓発実施



2. にぎわい創出に関する業務

1) 日常時の滞在空間創出業務

- 【必須業務】**
- ①区域①における机及び椅子等の設置・管理運営（非収益活動）：机35台、椅子100脚の設置・管理
 - ②区域②における机及び椅子等の設置・管理運営（非収益活動）：収支上課題である警備員配置の削減手法の検証
 - ③無線基地局設置管理業務（非収益活動）：Wi-Fiの日常管理・占用料の支払（導入費・通信費・電気代負担なし）

- 【提案業務】**
- ①区域①における机及び椅子等の拡充等：倍量程度に拡充（机35台、椅子100脚）するほか、シンボリックなモニュメント等を設置
 - ②区域②における購買施設等の管理運営（収益活動）：占用後1年程度はマルイの自主企画を通じ、運用ルールの構築・検証および活用の在り方を模索し、段階的な受入拡大を目指す。



2) イベント関連業務（収益活動）

- 【必須業務】** ①イベント共通事業 ②他者イベント関連業務：イベント受け入れ等 ※収益拡大に資する料金改定を含む

- 【提案業務】**
- ①民間イベント誘致方策検討・実施業務
 - ②魅力の高い他者イベント方策検討・実施業務
 - ③自主イベント実施業務
- ：営業・イベント誘致、魅力的な情報発信ツールの整備（HP・営業資料）、社会課題解決につながる自主企画の実施等（例：公認まちなかパフォーマンス）



2. にぎわい創出に関する業務

1) 日常時の滞在空間創出業務

- 【必須業務】**
- ① **区域①**における机及び椅子等の設置・管理運営（非収益活動）：机35台、椅子100脚の設置・管理
 - ② **区域②**における机及び椅子等の設置・管理運営（非収益活動）：収支上課題である警備員配置の削減手法の検証
 - ③ **無線基地局設置管理業務**（非収益活動）：Wi-Fiの日常管理・占用料の支払（導入費・通信費・電気代負担なし）

- 【提案業務】**
- ① **区域①**における机及び椅子等の拡充等：倍量程度に拡充（机35台、椅子100脚）するほか、シンボリックなモニュメント等を設置
 - ② **区域②**における**購買施設等の管理運営**（収益活動）：1年程度はマルイの自主企画を通じ、運用ルールの構築・検証および活用の在り方を模索し、段階的な受入拡大を目指す。

区域②（マルイ前）の活用方針・検証ステップについて

■ ほこみち期間を通じて検証する主な項目

- ① 利活用方針・ルール
- ② 維持管理協力金の設定

■ 活用方針・検証ステップ

- ・開始後、約1年間は、運用ルール検証期間として、マルイさんを検証パートナーとして、自主事業として活用を行い、運用ルールの検討を行う。 ※状況に応じて、検証期間延長の可能性あり
- ・2年目の2026年9月より、イベント受入・購買施設受入を行う。



項目	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	▼9/1開始	▼9/1 想定			6/30終了▼
机・椅子の設置	検証 ※10月中旬から11月中旬の検証を想定	検証結果に応じて常設設置	※利活用区域①と同様	警察協議により専用警備員の設置無しを合意の場合、常設設置も可能	
イベントの受入	運用ルール検証期間		イベント受入開始	※机・椅子設置検証期間(2025年度)、購買施設実施期間は除く	
購買施設	※自主事業として活用		購買施設受入開始		

3. 広告に関する業務

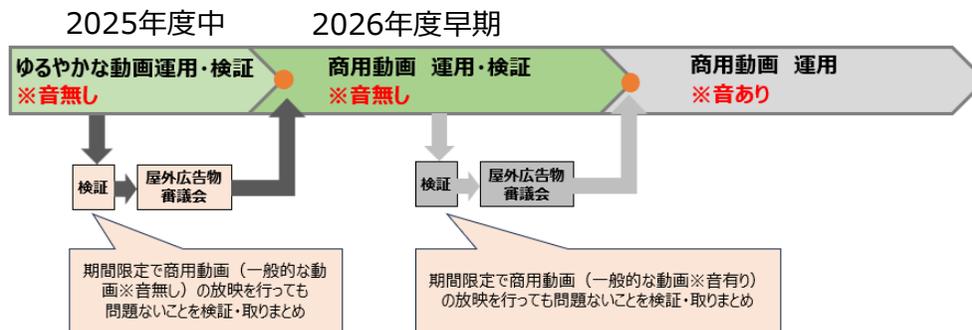
【必須業務】 ①デジタルサイネージ・バナー等の設置・管理運営業務（収益活動）：収益事業の柱の一つとして実施、
（防災インフラの観点から面積拡大、アンカー施工も検討）

【提案業務】 ①デジタルサイネージ追加設置に係る検証：収益確保のため、サイネージを追加設置・内容拡充し、イベント等との連動を図る



【課題】大阪市では、道路上において、デジタルサイネージの広告放映実績がないことを理由に
・開始当初は、ゆるやかな動画（ほぼ静止画・音声無し）放映に限定される。
⇒収益性を高めるために、早期を検証・結果を取りまとめたのち、屋外広告物審議会(大阪市の会議体)に諮り、
許可を得ることで、官民連携でルールを打破・構築していく。

【想定ステップ】



※屋外広告物審議会は例年12月に開催(年に1回の開催)

4. 安全で安心な環境づくりに関する業務

【必須業務】 ①**広場の警備業務に係るカメラの設置・管理運営業務（非収益活動）**：防犯カメラ設置（現行機器引継ぎ）、ランニングコスト負担

【提案業務】 ①**災害時の情報発信**：ミナまち育てネットワーク等のエリアマネジメント団体や行政機関との連携



5. 情報発信及び地域との連携業務

1) 情報発信業務（非収益活動）



- 【必須業務】 ①専用Webサイトでの情報発信：既存Webサイト・SNSにて情報発信強化（広場のシンボルとなる撮影スポットの整備含む）
 ②デジタルサイネージでの情報発信：広告事業者との連携
 ③チラシ配布での情報発信：大阪市と連携の上、必要に応じて実施



- 【提案業務】 ①効果的な地域情報の発信コンテンツ作成業務：地域団体と連携し、正式名称確定、地域メディア（大阪中心など）、難波観光案内所との連携等、

2) 地域との連携業務

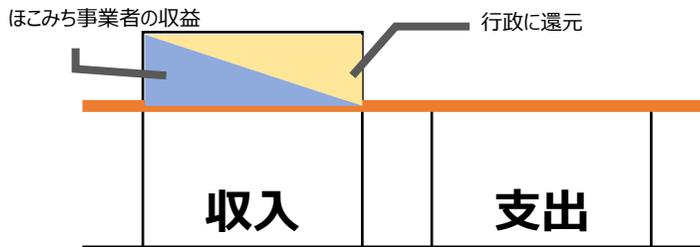
- 【必須業務】 ①地元団体への事業内容共有：内容や時期に応じた協議会の開催、情報連携

- 【提案業務】 ①周辺地域との連携：ミナミまち育てネットワークや御堂筋道路協力団体との課題共有・連携



6. 利益確保時に必須業務となる業務（非収益活動） ※収入が支出を上回った場合に実施

- ① 広場警備業務：警備費削減に向けた効率的な警備配置に関する検証
- ② 広場の小規模修繕など業務
- ③ 広場の維持管理等に寄与する業務：大阪市と協議の上、決定する



- ・増加分を利益として、
- 利益の1/2 → ほこみち事業者の収入（使用用途の指定なし）
- 利益の1/2 → 行政還元（治安維持警備費・小規模修繕）

7. 効果測定・検証に関する業務

- 【必須業務】
 - ① 事業実施による効果測定・検証：通行量調査、満足度調査等の実施
 - ② 民間事業者による自主的な管理・運営に向けた課題及び対応方策の整理・検証：大阪市との定例会議の実施
 - ③ 区域②（マルイ前）の効果的な活用方法検証：運用ルールの検証および活用の在り方の検証
 - ④ 区域④（なんさん通り南北）のほこみち区域指定に向けた検証のためのデータ収集：区域設定、通行量調査、運営体制検討等

- 【提案業務】 ① 追加効果測定・検証：回遊性研究会との連携、滞留行動調査の実施



8. 次期占有者への移行に関する業務 ※2029年7月1日以降の取扱い

- 【必須業務】
 - ① 本件業務実施に関する引継ぎ
 - ② 受付済み他者イベントの引継ぎ：次期事業者への資料等の引継ぎ

①前提条件

・準備委員会参画5者からの費用持ち出しは行わない。

※現在進行中の社会実験期間に得た利益の繰り越しが認められないため、初年度のみ南海電鉄から一時的に原資を預託する

②事業計画成立に向けた目標

・2029年7月以降の運営体制検討に反映するために、2027年度中に治安維持警備費を含めた事業収支成立を目指す。

**③事業計画成立のためのポイント****【収益増加】**

- ・イベント誘致・広告出稿獲得等の営業努力による収入の増大
- ・新たな収益源の模索（机・椅子への広告設置、モニメント広告の設置など）

【支出削減】

- ・治安維持警備の警備費削減
- 24時間防犯カメラ常時監視せずに安全・安心な空間を維持する方策の検討

④収支の取り扱いについて**(a)利益が出た場合**

- ・準備委員会の構成員への配分は行わない。
- ・広場の安定運営のために、余剰金として積み立てを行う。
- ・地域環境保全活動や収益拡大のための広場の設備投資を行う。

(b)支出が増加した場合

- ・提案事業の実施規模を調整し、収支がマイナスとならないように調整する。（民間による持ち出しが無いことが前提。）

①パターン1：提案収支 ※提案資料では収支均衡で提案する必要あり

【収入】

項目	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
社会実験原資	3,000,000	0	0	0
スペース利用 維持管理協力金	18,123,600	23,333,000	23,333,000	23,333,000
デジタルサイネージ	2,431,440	16,209,600	22,492,800	28,776,000
バナー広告	1,491,600	1,789,920	1,789,920	1,789,920
視察代	458,333	550,000	550,000	550,000
収入合計	25,504,973	41,882,520	48,165,720	54,448,920

※収入想定参考：デジタルサイネージ稼働率
2025年度15%/2026年度15%/2027年度20%/2028年度25%

【事業収支】

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
①収入合計	25,504,973	41,882,520	48,165,720	54,448,920
②支出合計	25,504,973	41,882,520	48,165,720	54,448,920
収支 ①-②	0	0	0	0

【支出】

項目		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
占用料	占用料	0	0	0	0
地域環境 保全	清掃費	1,430,500	1,579,000	1,579,000	1,579,000
	自転車マナー啓発費	1,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
	警備費（業務委託費）	200,000	200,000	200,000	200,000
	警備費（防犯カメラ）	2,083,333	2,500,000	2,500,000	2,500,000
利活用	滞留空間創出関連費	317,800	3,059,800	659,800	659,800
	現場安全管理・机椅子撤収委託費	1,848,000	1,848,000	1,848,000	1,848,000
	広場貸出備品	100,000	100,000	100,000	100,000
	催事実施費	3,300,000	12,000,000	21,127,874	25,711,074
広報	広報費	385,000	2,604,674	4,660,000	4,660,000
調査	調査費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
事務関連	事務所・倉庫賃借料	862,100	1,034,520	1,034,520	1,034,520
	人件費（コンサル・事務業務委託費）	10,500,000	8,000,000	8,500,000	10,200,000
	人件費（会計士・税理士委託費）	310,000	310,000	310,000	310,000
	水光熱費	400,000	400,000	400,000	400,000
	保険料	50,790	50,790	50,790	50,790
	諸費	195,736	195,736	195,736	195,736
	予備費	521,714	1,000,000	1,000,000	1,000,000
	原資返還	0	3,000,000	0	0
支出合計		25,504,973	41,882,520	48,165,720	54,448,920

②パターン2：現実収支

【収入】 ※前項からの変更点赤字

項目	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
社会実験原資	3,000,000	0	0	0
スペース利用 維持管理協力金	18,123,600	23,444,982	23,445,000	23,445,000
デジタルサイネージ	2,431,440	22,492,800	28,776,000	35,059,200
バナー広告	1,491,600	1,789,920	1,789,920	1,789,920
視察代	458,333	550,000	550,000	550,000
収入合計(A)	25,504,973	48,277,702	54,560,920	60,844,120

※収入想定参考：デジタルサイネージ稼働率

2025年度15%/2026年度20%/2027年度25%/2028年度30%

【事業収支】

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
①収入合計	25,504,973	48,277,702	54,560,920	60,844,120
②支出合計	25,483,259	40,937,846	30,037,846	32,737,846
③収支 ①-②	21,714	7,339,856	24,523,074	28,106,274
④行政還元 (業務委託) ③×1/2	10,857	3,669,928	12,261,537	14,053,137
⑤ほこみち事業者 インセンティブ収入 ③×1/2	10,857	3,669,928	12,261,537	14,053,137
⑥税金 ⑤×0.3	3,257	1,100,978	3,678,461	4,215,941
⑦最終利益 ⑤-⑥	7,600	2,568,950	8,583,076	9,837,196
⑧累積利益		2,576,550	11,159,625	20,996,821

【支出】 ※前項からの変更点赤字

項目		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
占用料	占用料	0	0	0	0	
地域環境 保全	清掃費	1,430,500	1,579,000	1,579,000	1,579,000	
	自転車マナー啓発費	1,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	
	警備費(業務委託費)	200,000	200,000	200,000	200,000	
	警備費(防犯カメラ)	2,083,333	2,500,000	2,500,000	2,500,000	
利活用	滞留空間創出関連費	317,800	3,059,800	659,800	659,800	
	現場安全管理・机椅子撤収委託費	1,848,000	1,848,000	1,848,000	1,848,000	
	広場貸出備品	100,000	100,000	100,000	100,000	
	催事実施費	3,300,000	12,000,000	6,000,000	7,000,000	
広報	広報費	385,000	1,660,000	1,660,000	1,660,000	
調査	調査費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	
事務関連	事務所・倉庫賃借料	862,100	1,034,520	1,034,520	1,034,520	
	人件費(コンサル・事務業務委託費)	10,500,000	8,000,000	8,500,000	10,200,000	
	人件費(会計士・税理士委託費)	310,000	310,000	310,000	310,000	
	水光熱費	400,000	400,000	400,000	400,000	
	保険料	50,790	50,790	50,790	50,790	
	諸費	195,736	195,736	195,736	195,736	
	予備費	500,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
	原資返還	0	3,000,000	0	0	
	支出合計(B)		25,483,259	40,937,846	30,037,846	32,737,846

2028年7月～の運用に向けて
1000万円以上の余剰金確保を目指す

③パターン3：将来収支想定（治安維持警備費と占用料を負担した場合）

【事業収支】

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
①収入合計(上記A)	25,504,973	48,277,702	54,560,920	60,844,120
②支出合計	25,483,259	40,937,846	67,537,846	70,237,846
収支 ①-②	21,714	7,339,856	-12,976,926	-9,393,726

【支出】 ※本公募では治安維持警備費と占用料の負担は必須ではないが、将来収支をシミュレーションするために、2027年度・2028年度に負担する想定で算出

項目	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
支出合計(上記B)	25,483,259	40,937,846	30,037,846	32,737,846
治安維持警備費	0	0	35,000,000	35,000,000
占用料	0	0	2,500,000	2,500,000
合計	25,483,259	40,937,846	67,537,846	70,237,846

★将来の収支成立（治安維持警備費・占用料を負担）するためには、+940万～1300万円の収支改善が必要